

豊橋市西幸町の南大清水層からの生痕化石, *Ophiomorpha nodosa*

松岡敬二*

The trace fossil, *Ophiomorpha nodosa* from the Pleistocene Minamioshimizu Formation,
Nishimiyuki-cho, Toyohashi City

Keiji Matsuoka*

はじめに

豊橋市の南部を東西に流れる梅田川の北側に広がる高師原台地を構成する地層は、高師原礫層（土, 1960）、ないし高師原礫層、渥美層群寺沢砂質泥層及び岩屋礫層（黒田, 1967）として扱われてきた。中島ほか（2008）は、高師原台地に分布する更新統について再検討し、西部地域は福江層、東部地域は未区分の渥美層群、南大清水層と福江層に区分した。

2009 年から整備が進められている西幸町字古並の市道、西幸町・高田町 10 号線の拡幅工事による新たな南大清水層の露頭（東経 137° 25' 2"；北緯 34° 43' 32"）が現れ、生痕化石を採集することができた。

この生痕化石を産出した露頭は、2013 年 12 月 27 日には消失したため、南大清水層の堆積環境を復元する上で資料となるので記録する。



第 1 図．生痕化石の産状（豊橋市西幸町字古並の露頭）。

本論をまとめるにあたり、生痕化石の産出層準について御教示いただいた産業技術総合研究所地質調査総合センターの中島 礼氏にお礼申し上げる。

産出層準及び堆積環境

生痕化石は、露頭の下位の泥層、中位の泥の薄層や擬礫を挟む淘汰の悪い粗粒から細粒の砂層、上位の泥層に含まれている。採集した生痕化石は、中位の砂層中に堆積面に対してほぼ垂直ないしやや斜めに伸びていた（第 1 図）。生痕化石を採集した場所は、中島ほか（2008）の Loc. 41 付近であり、産出層準は南大清水層の中部泥層に相当する。

下部礫層、中部泥層、上部礫層からなる南大清水層は、1 つの海進海退により形成された堆積物とされ、中部泥層は海域の影響を受ける河口付近の干潟環境に堆積したものと推定されている（中島ほか, 2008）。

保管標本

採集した 2 個の生痕化石 (TMNH-07824 ~ 07825) は、円筒状で外表面はいぼ状の不規則な凹凸がある（第 2 図 - 1a, b）。棲管は泥質で、厚さは 1 ~ 2 cm、内面は平滑で、内径が円形に近い（第 2 図 - 2a, b）。この管状生痕化石は、*Ophiomorpha nodosa* に同定される。

Ophiomorpha の形成主は、アナジャコ類 (Thalassinidea) に含まれるスナモグリ属 (*Callianassa*)、

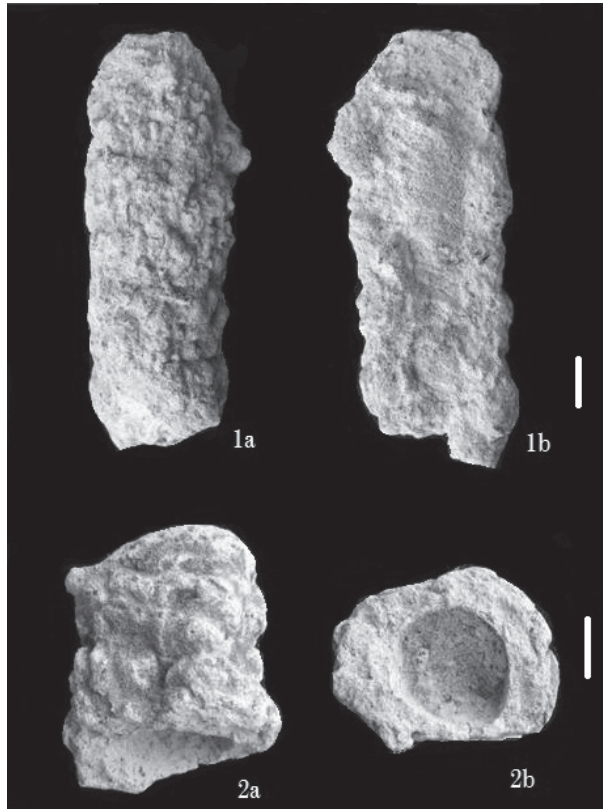
* 豊橋市自然史博物館. Toyohashi Museum of Natural History, 1-238 Oana, Oiwa-cho, Toyohashi, Aichi 441-3147, Japan.

原稿受付 2014 年 1 月 8 日. Manuscript received Jan. 8, 2014.

原稿受理 2014 年 1 月 9 日. Manuscript accepted Jan. 9, 2014.

キーワード: 生痕化石, *Ophiomorpha nodosa*, 南大清水層, 更新世, 豊橋市.

Key words: trace fossils, *Ophiomorpha nodosa*, Minamioshimizu Formation, Pleistocene, Toyohashi City.



第2図．生痕化石．

1a：生痕化石の外表面，1b：生痕化石の縦破断面
(TMNH-07824)，2a：生痕化石の外表面，2b：生痕化石の横破断面 (TMNH-07825)．スケールバー：1 cm.

アナジャコ属 (*Upogebia*)，アナエビ属 (*Axius*) の造った生痕と考えられている (Frey et al., 1978).

引用文献

- Frey, R. W., Howard, J. D. and Pryor, W. A., 1978. *Ophiomorpha*: Its morphologic, taxonomic, and environmental significance. *Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology*, **23**: 199–229.
- 黒田啓介, 1967. 渥美半島上部から産出する植物遺体. 第四紀研究, **6**(2): 57–62.
- 中島 礼・堀 常東・宮崎一博・西岡芳晴, 2008. 地域地質研究報告 (5 万分の 1 地質図幅) 豊橋及び田原地域の地質. 地質調査総合センター, つくば市, 113 p.
- 土 隆一, 1960. 渥美半島周辺の第四系の地質学的問題. 第四紀研究, **1**: 193–211.